

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度	令和2年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模女子大学グリーンホール(相模原市文化会館)、相模原南市民ホール、小田急相模原駅文化交流プラザ
指定管理者名	公益財団法人 相模原市民文化財団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)
施設設置条例	相模原市立文化会館条例、相模原市立市民会館条例、相模原市立小田急相模原駅文化交流プラザ条例
施設の設置目的	文化会館:市民が芸術文化を鑑賞し、及び文化活動を行う場を提供し、もって文化の香りあふれる都市の創造に寄与するため 南市民ホール:市民の文化の向上及び福祉の増進に寄与するため 小田急相模原駅文化交流プラザ:市民が行う参加、体験型等の多様な文化、交流活動などを通して、市民の文化の向上及び相互交流の促進に寄与するため
施設概要	文化会館 ・所在地 相模原市南区相模大野4-4-1 ・敷地面積 9,842.90㎡ ・延床面積 文化会館14,725.99㎡ 図書館3,723.92㎡ メディカルセンター3,787.82㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 ・主な施設 1~4階 大ホール(1,790席または1,240席として利用可) 2階 多目的ホール(可変床 移動席240席) 地下1階 リハーサル室、練習室 南市民ホール ・所在地 相模原市南区相模大野5-31-1 ・敷地面積 7,596.61㎡ ・ホール延床面積 1,476.68㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造 地下1階地上5階(うちホール部分1~3階の一部) ・主な施設 ホール(400席) 小田急相模原駅文化交流プラザ ・所在地 相模原市南区南台3-20-1 ・敷地面積 5,278.58㎡ ・延床面積 888.11㎡(うち文化交流プラザ専有面積489.73㎡) ・構造 鉄筋コンクリート造 地下3階地上4階(うち文化交流プラザ部分は4階) ・主な施設 多目的ルーム、ミーティングルーム1・2
施設所管課	市民局 文化振興課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	503,306	490,163	385,569	84,513			
利用料金合計(円)	178,153,081	173,602,098	145,879,981	58,828,569			

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
D	<p>【評価理由】 指標1・2の平均達成度が73.3%と80%を下回ることからD評価とする。指標1の企画提案事業の満足度については、「とても満足」と回答した方の割合が65.6%と目標値を下回るが、「とても満足」と「満足」と回答した方の割合は97.6%となっており、全体的な満足度は高い状態を維持している。指標2の平均利用率については、文化活動の自粛等の影響を大きく受け、実績値が56.5%と昨年度から30ポイント以上低下した。</p> <p>【委員会意見】 成果指標に対する評価がD評価となった要因は指標2のホール利用率が低下したことにあるが、施設運営上の問題ではなく、感染症の影響によるものであるため、コロナ禍においてはやむを得ないと捉えている。令和3年度においても緊急事態宣言等が発出され、外出自粛を求められる期間があることから、令和3年度の評価を行う際にはホール等の利用率に関する指標を評価の対象から外すことが妥当である。</p>

指標 1							
指標名 (単位)	企画提案文化事業来場者の満足度(%)						
指標式と指標の説明	指定管理者の企画提案で行う文化事業の来場者の満足度(「指定管理者が行う業務の詳細」に定める事業において回収された来場者アンケートのうち、最も高い満足度を回答した方の割合)を成果指標とする。						
項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)			76.0	77.0	78.0	79.0	80.0
実績値 (%)	72.9	77.0	68.6	65.6			
達成度 (%)			90.3%	85.2%	0.0%	0.0%	0.0%

※ (参考) 2 番目に高い満足度を含めた場合 (とても満足 + 満足)

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績値 (%)	98.3	98.3	98.5	97.6			

指標 2							
指標名 (単位)	相模原市文化会館(大ホール及び多目的ホール)、相模原南市民ホール、小田急相模原駅文化交流プラザ(多目的ルーム)の平均利用率(%)						
指標式と指標の説明	施設が利用されることにより、市民の鑑賞機会や活動機会が増加し、市民の文化活動が推進されるため、(利用日数・利用可能日数)にて算出された対象施設の利用率の平均を成果指標とする。						
項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
実績値 (%)	88.7	88.7	89.9	56.5			
達成度 (%)	96.4%	96.4%	97.7%	61.4%	0.0%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	<p>【評価理由】 目標達成度が125%を超えていることからS評価とする。令和2年度は施設の利用休止や市設置施設におけるイベントの開催を8月末まで中止した影響から事業を実施できる期間が9月以降の7か月間に限られたものの、企画提案事業を22回、その他にも自主事業として公演事業を実施し、コロナ禍においても、各施設の設置目的や特性を踏まえつつ市民が文化芸術を鑑賞したり、親しむことができる機会を提供したことを評価する。</p> <p>【委員会意見】 事業の中止や延期を余儀なくされた中でもバラエティに富んだ事業展開がなされており、大いに評価できる。コロナ禍で事業の実施が困難であったことは理解しているが、小田急相模原駅文化交流プラザでも事業の実施手法を工夫し、企画提案事業を実施できていると尚よかった。</p>

市が指定する事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価

企画提案事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
劇団四季ミュージカル「コーラスライン」	9月21日(月)	演劇・舞踊 文化会館大ホール 1回 1,009人 他のカンパニーでは実施できない「劇団四季」による作品を提供することで、相模原のシティブランドの牽引役としての役目を果たし、市民のニーズにも応える事業として実施した。	◎
劇団四季ミュージカル「コーラスライン」	9月22日(火)	演劇・舞踊 文化会館大ホール 1回 948人 他のカンパニーでは実施できない「劇団四季」による作品を提供することで、相模原のシティブランドの牽引役としての役目を果たし、市民のニーズにも応える事業として実施した。	◎
グリーンホール相模大野30周年記念立川志の輔独演会	11月2日(月)	伝統芸能 文化会館大ホール 1回 578人 完売御礼となり、30周年開館記念事業としてふさわしい事業であった。立川志の輔独演会は、市民の鑑賞ニーズが大変高く、再々の振替となったが、ニーズに応え実施することができ、アンケートの満足度も非常に高かった。	○
グリーンホール相模大野30周年記念立川志の輔独演会	11月3日(火)	伝統芸能 文化会館大ホール 1回 580人 完売御礼となり、30周年開館記念事業としてふさわしい事業であった。立川志の輔独演会は、市民の鑑賞ニーズが大変高く、再々の振替となったが、ニーズに応え実施することができ、アンケートの満足度も非常に高かった。	○
北九州市立松本清張記念館プロデュース 前進座公演 松本清張朗読劇「ゼロの焦点」	11月5日(木)	演劇・舞踊 南市民ホール 1回 140人 役者の熱気を身近に感じることができ、小規模なホールの魅力発信につながった。また、「すばらしい朗読劇で感動した」等、来場者の満足度は非常に高く、質の高い公演を安価な料金で提供できた。	○
グリーンホール相模大野30周年記念野村万作・萬斎～狂言への誘い～	11月21日(土)	伝統芸能 文化会館大ホール 1回 683人 グリーンホール相模大野30周年記念公演として、囃子方にも出演いただいた華やかな演目を上演し、アンケートでも「狂言はとてもおもしろく感動した」と好評で、市民ニーズの高い著名人の質の高い公演を提供できた。	○
日本フィルハーモニー交響楽団 第16回 相模原定期演奏会	12月6日(日)	クラシック 文化会館大ホール 1回 838人 新型コロナウイルス感染症の影響により曲目変更となったが、多くのお客様が来館され、安全にコンサートを開催することができた。また、補助金を獲得するなど健全な運営になるよう努力を行った。	◎
相模原音楽家連盟 フレッシュコンサート山田佳穂(フルート)・平石早玲(クラリネット)	12月16日(水)	クラシック 南市民ホール 1回 200人 地域の方々に気軽にクラシック音楽に触れる機会を提供した。また、相模原音楽家連盟との共催である本公演の出演者は、地元の若いアーティストであり、市民の芸術文化活動の支援につながった。	◎
グリーンホール相模大野30周年記念白石加代子「百物語」シリーズ アンコール公演第三弾	12月19日(土)	演劇・舞踊 文化会館多目的ホール 1回 225人 市内からの来場者が半数以上ということから、市民の鑑賞ニーズに応えるという事業目的は達成できたと考えられる。グリーンホール相模大野30周年記念最後の事業を大盛況で幕を閉じることができた。	◎
市川海老蔵 古典への誘い	3月14日(日)	伝統芸能 文化会館大ホール 1回 1330人 全国的に人気が高い公演を遠方まで足を運ぶことなく、地元で上質な伝統芸能公演を鑑賞する機会を提供できた。また、市外からのお客さまも多く来館し、対外的にもホールのPRに繋げることができた。	◎
第142回グリーンホール八起寄席	11月16日(月)	伝統芸能 多目的ホール 1回 132人 市内団体との連携事業として多目的ホールで落語会を開催することで、地域の文化振興に寄与するとともに、市民に気軽に落語を楽しむ機会を提供した。	◎

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
自動販売機設置	4月から1年	・文化会館…6台 ・南市民ホール…1台 ・文化交流プラザ…1台	○
グリーンホール相模大野30周年記念 カンパニーデラシネラ こども古典名作 劇『ドン・キホーテ』	12月12日(土)	演劇・舞踊 文化会館多目的ホール 2回 81人、71人 相模原市の文化振興及び地域活性化を図るため、地域活性化事業補助金を活用し、大人も子どもも楽しめる良質なダンス公演を低価格で実施した。ソーシャルディスタンスを保ちながら、検温と消毒等を徹底し、安心して鑑賞できる環境を整えたことで、コロナ禍における文化振興の役割と責務を果たし、街の賑わいと地域活性化に貢献した。	○
新春スペシャル劇場！ 影絵劇「ぶんぶくちやがま」	1月5日(火)	演劇・舞踊 おださが多目的ルーム 2回 71人、57人 地域活性化事業補助金を活用し、影絵公演を無料で行った。冬休み期間の開催としたため多くの親子連れが訪れ、感染症対策を徹底した中で、大人も子どもも楽しむ時間を提供することができ、地域の活性化に繋がった。	◎

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>【評価理由】 目標値を達成していることからA評価とする。施設の管理、清掃、対応が適切に行われ、来場者が快適に利用できる環境を維持していると評価する。今年度から新たにサーマルカメラの導入や手指消毒液の設置、施設内消毒の追加といった対応を行っており、施設として万全の感染症対策を講じている。文化会館においては、駅からの経路上にあった公共歩廊の閉鎖に伴い、来場者が迂回路を通らなければならなくなったが、誘導員を的確に配置し、円滑に運営がされていることも評価できる。</p> <p>【委員会意見】 感染防止対策を講じながら適切に施設運営が行われ、利用者が安心して活動したり、芸術鑑賞できる場を提供できている。</p>

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	施設利用者に対するアンケートの実施 調査手法:利用者へのアンケート用紙配布 調査時期:2020年12月1日(火)~2020年12月27日(日) 配布枚数:193枚(回収枚数193枚、回収率100%)
目標値の基準	5段階評価のうち、「とてもよい」、「よい」と回答した方の割合の合計

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値(%)	94.6	96.5	99.3	98.9			
達成度(%)	105.1%	107.2%	110.3%	109.9%	0.0%	0.0%	0.0%

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
アンケートBOX	通年	施設にアンケートBOXを設置し、利用者からの意見や要望等を随時受け付けている。受け付けた内容については会議で共有を図り、対応に努めている。
HP お問い合わせフォーム	通年	施設のHPにお問い合わせフォームを設置し、利用者の方が質問や相談をしやすいような取り組みを行っている。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>【評価理由】 令和2年度は、本体事業収支、全体収支ともに黒字となり、収支状況が改善した。利用料金の減収や感染症対策に伴う新たな支出などがあったが、経費節減や市の補助金制度の活用により補っている。</p> <p>【委員会意見】 指定管理者本体の財務状況は概ね良好である。経営状況については正味財産増減額はプラスであるものの、協力金や補助金等の影響が大きいため、今後の見通しに若干の懸念が見られる。</p>

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入 (a)		490,903	491,748	509,489
	指定管理料	249,798	295,286	284,892
	利用料金収入	173,602	145,880	58,828
	その他の収入	67,503	50,582	165,769
支出 (b)		490,799	507,704	492,519
	人件費	104,151	99,760	92,937
	本社管理経費		14,458	15,208
	その他の支出	386,648	393,486	384,374
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)		104	-15,956	16,970
自主事業収入 (d)			2,490	3,847
自主事業支出 (e)			263	3,135
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)		0	2,227	712
全体収支 【(c)+(f)】		104	-13,729	17,682
備考	令和元年度分の新型コロナウイルス感染症拡大防止措置に伴う損失補償14,249千円は収入に計上していない。			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	履行管理に関するチェックシートを使用した現地調査、指定管理者へのヒアリング
実施時期	令和2年10月14日実施

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 指定管理者の自己評価

施設の設置目的や、条例等を十分に理解し、適切な施設利用事務を行い、施設の催し物の情報や空き日の情報をホームページで公開するなど利用者増加に努め、これまで同様に多くの方に利用いただいている。また、施設や設備を保つために日常管理を行うとともに、定期点検を計画的に実施し、安全な施設を維持することができている。

施設利用にあたっては、国や県、相模原市の利用条件に基づき、感染拡大防止策（「ホール等施設における新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」）を定め、利用者への周知を行い、コロナ禍においても安心して施設をご利用いただける体制とした。

また、相模原市からの指定管理者制度導入施設協力金等の交付を受け、利用者に影響なく施設を稼働させることができた。

施設内各所への消毒液の設置、来館者の検温を行うため施設入口にタブレット型検温器やサーマルカメラ等を導入した他、楽屋等に空気清浄機の設置、施設窓口の受付カウンターに透明アクリル板を設置する等の感染対策を図った。これらの、新型コロナウイルス感染症対策については、相模原市の指定管理者制度導入施設コロナ対策事業補助金等を活用して行った。

事業実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業の中止・延期が相次いだ。感染対策を十分に施した上で、施設ごとの特徴をふまえた事業展開を図ることができた。文化会館は、コロナ禍において事業の実施が厳しい時勢ではあるもののグリーンホール相模大野30周年記念公演として、「日本フィルハーモニー交響楽団第16回相模原定期演奏会」、劇団四季などの華やかな鑑賞型事業を実施した。また「立川志の輔独演会」、「市川海老蔵～古典への誘い～」など全国的に人気が高い公演を実施し、シティブランドのけん引役となるホールにふさわしい事業を行った。また、南市民ホールでは、気軽に文化に触れることができる事業を実施し、おださがプラザでは、地域活性化に貢献するための事業を実施するなど、施設ごとに特徴ある事業を実施することができた。

9 所管課意見

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により施設の利用休止や主催事業の中止など、施設の運営において多大な影響を受けたが、利用者への利用取消時の説明や料金還付などの対応を昨年度に引き続き適切に行うとともに、業種別ガイドライン等に即した感染症防止対策を講じて施設や事業を円滑に再開したことを高く評価する。

ホール利用率については、文化活動の自粛等の影響を受け昨年度より大きく下がったが回復傾向にはあるので、引き続き、感染状況の推移等を見守りながら、利用率向上の努力を続けていただきたい。

事業面では各施設において、施設の設置目的や特性を踏まえた事業を実施しており、相模女子大学グリーンホールでは、コロナ禍においても芸術性が高い公演を継続的に開催していることを高く評価する。昨年度よりも集客数は全体的に少なくなっているが、安定的に集客を獲得できている。集客の多い大規模公演時はより感染対策に配慮が求められるが、これまで培ってきたノウハウや経験を生かし、円滑な運営がなされている。南市民ホールにおいては、これまで継続的に実施してきた演劇や映画などを上演し、施設の特徴を出している。おださがプラザにおいては、感染症の影響で企画提案事業は実施できなかったが、コロナ禍で遠くへ出かけることができずにいる親子を対象に影絵劇を鑑賞できる事業を新たに企画したことを評価する。

10 選考委員会意見

総合評価はB評価となっているが、コロナ禍においても最大限の努力で施設運営をしており、高く評価できる。客席数が多く感染症防止対策が難しい文化会館も管理しているが、適切な対策が講じられている。芸術性が高く、バラエティに富んだ公演を実施できているし、新規事業として出演者側の感染対策も徹底できる影絵劇を子ども向けに上演するなど、長年に渡って培われたノウハウが発揮されている。感染症の影響を受けて各施設の運営は厳しい状況にあるが、困難に負けずに増々努力することを望む。

